



高山村立高山中学校

学校だよりNo. 3

令和6年8月23日



二学期がスタートしました

8月21日の水曜日より、二学期がスタートしました。始業式では、各学年の代表生徒による二学期の抱負の発表、そして校長先生のお話、校歌斉唱がありました。全校で二学期への抱負を共有しました。良いスタートが切れたのではないかと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、二学期もご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



☆二学期始業式 各学年代表生徒の発表より

「二学期がんばりたいこと」

1学年 代表生徒

私は、二学期にがんばりたいことが二つあります。1つ目は、テストです。第一回目の定期テストでは、テスト勉強の正しい取り組み方があまりわからず、予定通りに進められない部分がありました。その結果、自分が思っていたよりも点数はとれず、満足のいかない結果でした。なので、二学期のテストでは、一学期の反省を生かして苦手な教科の復習や、分からないことはすぐに質問するなどして、自分が満足のいくような結果になれるように努力をしたいと思います。

2つ目は、紅葉祭です。二学期には学校の一大イベントである紅葉祭があります。私は美術部に入っているので、一学期からステージバック制作に取り組んでいます。ステージバック制作の成功に向けて、完成まで全力で取り組み、全校のみなさんが紅葉祭にふさわしいと思ってくれるような作品を作りたいです。初めての紅葉祭は、緊張もしますが、楽

しみな行事です。なので、準備や練習を一生懸命やって紅葉祭を成功させ、みんなと一緒に素晴らしい思い出をつくりたいです。二学期は忙しくなりそうですが、楽しい行事もあります。充実した二学期にするために、あいさつやチャイム前着席などの当たり前の習慣も、日々大切にしていきたいです。そして、一日一日ずつ成長していきたいです。



「二学期の抱負」

2学年 代表生徒

僕は二学期の目標が3つあります。1つ目は勉強です。一学期はテストで納得のいく点数をとることができなかったので、二学期からはワークを一回やるだけでなく、二回、三回と繰り返して、一学期よりも納得のいく点数がとれるようにしたいです。

2つ目は部活動です。僕は小学校一年生の時から剣道をしています。高山中学校には剣道部がないので、平日は常盤中学校の剣道部と一緒に練習をしています。また、土曜日は若穂剣道育成会に行き、練習しています。僕は普段の練習から試合を想定した練習を行い、どうしたら大将につながることができるか考えています。足りない部分を補い、試合で緊張しないために本番と同じように取り組んでいきたいです。正剣会のメンバーとして恥のないようなふるまいをしていきたいです。

3つ目はあいさつです。僕は一学期の職場体験学習や総合的な学習の時間、部活動を通してあいさつをすることはとてもいいことだと学びました。なので、僕は進んであいさつをするようにしています。二学期もあいさつを自分から進んで行い、さらに声の大きさや気持ちを込めたあいさつができるようにしていきたいです。

これら3つのことを軸に二学期も頑張ります。



「二学期の抱負」

3学年 代表生徒

二学期が始まります。皆さんは、二学期と言ったら何を思い浮かべますか？私は紅葉祭です。3年生は今年で最後の紅葉祭です。私は1学期の終わりに須坂高校の文化祭である「りんどう祭」を見に行きました。中学校とは規模が全く違いすごかったです。実際に目の前で見てみると、生徒一人一人が自立し、企画や実行をして文化祭を盛り上げようとしていることが感じられました。また、とても自由な雰囲気を感じ、1年後の高校の文化祭が楽しみになりました。では中学校の文化祭とは何のためにあるのでしょうか。これは人によって異なると思いますが、私達3年生の立場からすると、9年間共に過ごした仲間との総決算の中の1つの行事だと思っています。そのため、高校の文化祭とはまた別の魅力があるのではないのでしょうか。私はこのことから、体育祭や音楽祭を全力で取り組み、悔いの残らないようにしたいです。

次に学習面についてです。私は一学期の第1回総合テストで大失敗をしてしまいました。それは総合テストの範囲を侮っていたからです。そのため二学期の総合テストでは、失敗を繰り返さないために2つの目標をもちたいと思います。1つ目は「家庭学習」です。家での学習時間を長くして復習の時間にしたいと思います。もう1つは「提出物」です。3年生にもなって何を言っているのだと思うかもしれません。その通りだと私も思います。自分自身の甘えのせいで、今までずっとできないままになってしまいました。しかし、今回こそ、この課題を何とかしたいと思います。そして学習面を考える上で、最後は高校受験へと繋がります。受験に向けて学習の内容を充実させることができるよう、この二学期は精一杯頑張ろうと思います。

二学期始業式 学校長の話

32日間という長い夏休みが終わり、今日から二学期がスタートします。この夏休みは皆さんにとってどのような夏休みだったでしょうか。休み前に立てた計画はどの程度実現できたでしょうか。長かった分いろいろな出来事があったと思いますが、大きな事故や怪我無く、こうして皆さんの元気な姿が見られたことが、何よりもうれしく思っています。

二学期の始業式にあたり、まず、この夏休み中での高山中の皆さんの活躍の様子を少し紹介したいと思います。

まず、吹奏楽部の皆さんです。夏休み前に壮行会を行い全校の皆さんでコンクールに向けての応援を送りました。7月27日に行われた北信地区の吹奏楽コンクールでは、銅賞を受賞することができました。私も当日メセナホールで演奏を聴かせてもらいましたが、壮行会の時からさらにレベルアップした思いのこもったすばらしい演奏を聴かせてくれました。

続いて、同じく7月27日には3年生の有志の皆さんが、総合的な学習の時間の活動として「信州高山まつり」に参加をしました。高山村の行事を盛り上げようと「高山中三学年連」をつくり、「ひんのべ音頭」の踊りに参加をして、見事に「アイデア賞」を受賞しました。この写真を見ても、3年生の皆さんの熱い情熱が伝わってきますね。こうした皆さんのような若いエネルギーというのは、村の活性化に大きな力を与えます。

また、皆さん自身も地域とつながり、地域を知る大切な場になっていると感じました。さらに、この「高山まつり」にかかわって、今年の「高山まつり」のキャッチフレーズは2年生の義家結愛さんが考えた「夏だ！祭りだ！高山じゃー！～みんなの笑顔を咲かせよう！～」が選ばれ、その表彰式もこのお祭りの中で行われました。この「高山まつり」を高山中の皆さんがしっかり盛り上げてくれていました。

一方、学校の中では美術部の皆さんが、紅葉祭のステージバックの制作に連日汗を流していました。制作しているステージバックの様子はここでは紹介できませんが、構想を見ながらたくさん色を使い分け、黙々とステージバックの制作に取り組む美術部の皆さんの成果を全校の皆さんもぜひ楽しみにしててください。

また、外の畑に目をやると、5組の皆さんが世話を続けてきたいろいろな野菜が赤や緑の実をつけ、収穫の夏を迎えていました。また、玄関のプランターの花も委員会の皆さんの当番活動の取り組みにより、こうして見事に学校の玄関に彩を添えてくれています。今年の夏は本当に暑かったので、外での作業はとても大変だったと思いますが、日々の世話を続けてきたことがこうして実を結ぶことを体感できる大切な取り組みであったと思います。

いくつかの様子を伝えさせてもらいましたが、これ以外でも自分の目標に向けて地道な努力を重ねたり、学校や地域のために力を発揮してくれたりした皆さんの取り組みがきっとあったことと思います。そんな様子もぜひ担任の先生や学年の先生、職員室の先生に伝えてもらえればうれしいです。

さて、一学期終業式で少し紹介しましたが、この夏はパリオリンピックという大きなスポーツの祭典が行われました。日本選手の活躍には目を見張るものがありましたね。皆さん

はどの選手の活躍が印象に残っているのでしょうか。日本人選手の金メダル数は、海外で行われたオリンピックの最多記録を塗り替えたそうです。しかし、私としてはメダルの数よりも、大逆転での勝利や、プレッシャーを背負いながらも精一杯に競技に取り組む選手の姿に大きな感動を覚えました。そんな中、印象に残った選手のインタビューがあったので紹介します。この選手を皆さんは知っていますか。

卓球女子日本代表の張本美和選手です。張本選手は初めてオリンピックに出場して、見事に卓球女子団体で銀メダルを獲得しました。その張本選手が試合後のインタビューの中で次のような言葉を話していました。それは、「負けた試合もすべて自分のこれからの経験になるので、次につなげていきたいです」という言葉です。負けた試合の後のインタビューでしたが、この写真からも分かるように、とてもさわやかで前向きな姿勢が印象に残っています。

話は変わりますが、次のような言葉があります。

「努力をして結果が出ると、自信になる。

努力せず結果が出ると、おごりになる。

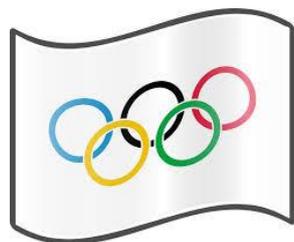
努力せず結果も出ないと、後悔が残る。

努力して結果が出ないとしても、□□が残る。」

「努力」と「結果」の関係を表した言葉ですが、まず「努力をして結果が出ると自信になる」というのは、そのとおりですね。頑張ったことがそのまま成果につながれば、「やった甲斐があった!」と自信になります。「努力せず結果がでると、おごりになる」というのは、何もやっていないがたまたまいい結果が出たときに「おれってすごいかも!」と、いい気になって思い上がってしまうことです。「努力せず結果も出ないと、後悔が残る」は、「もっとしっかりやっておけばよかった」と、自分がやらなかったことに対して悔やむ気持ちをもつことです。

では、最後の「努力して結果が出ないとしても、□□が残る」の□□にはどんな言葉が入ると思いますか?ここに入る言葉は先ほどの張本選手のインタビューの中で出てきた、「経験」という言葉です。努力をしても結果がでないことは多々あります。「こんなに頑張ったのになんで…」という思いは、皆さんもきっと味わったことがあると思います。しかし、結果が出ないから何も残らないかという、そうではないのです。張本選手が「負けた試合もすべて自分のこれからの経験になる」と言っているように、この努力した「経験」の積み重ねこそが、その人のそれからの成長につながると私も思っています。

さて、今日から二学期が始まります。皆さんの心の中には、二学期の目標と、その目標を実現するために取り組みたいことがあると思います。目標に向けて努力したことが、すぐに結果につながらないこともきっとあると思いますが、そこで得られた経験がきっとその後の自分の成長につながることを信じて、その努力を根気強く続けていく、そんな二学期にしてほしいと思います。充実した二学期にしていきましょう。



〒382-0825 上高井郡高山村大字高井4575 高山村立高山中学校

TEL 026-245-0948/050-3565-7305 FAX 026-246-5007

URL <http://www.takayama-j.ed.jp> E-mail info@takayama-j.ed.jp (文責 竹下)

